

若 鮎



HPで活動の様子を
紹介しています。



1/15(水)「嫁祝い」「焼き草集め」(西横山)に参加しました！

「自分を変える」一年に

校長 竹内 聖子

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、学校の教育活動に際し、保護者・地域の皆様から多大なるお力添えをいただき、誠にありがとうございました。力強いバックアップのお陰で、充実した教育活動を行うことができました。

さて、令和7年は巳年です。蛇が何度も皮を脱ぎ捨て新しい姿へと生まれ変わるように、巳年は、「再生」と「変革」の年と言われています。今年は『新しい自分』になるチャンスのような年です。

では、どうやって『新しい自分』になればいいのでしょうか。

難しそうに思えますが、それは簡単です。「『新しい自分』になろう」と思えばいいのです。自分を変えようと思えば、未経験のことや難題に対しても「挑戦しよう」という気持ちが出てきます。「挑戦」のゴールは「成功」ではなく「成長」です。例え失敗してもそれは「成長」する糧になっています。無理そうだと思っても、1回は挑戦することが大切です。「これ以上は無理だろう」と限界を決めてしまったら、それ以上成長することは絶対にありません。「やったらできるかも」と自分を信じてやってみてください。子供も大人も、何歳になっても「成長」はできます。

そして、この挑戦は、たった1回ではなく、何回も色々な場面でやり続けてほしいと思います。挑戦をやり続けるには「楽しむ」ことが大切です。「楽しむ」のは必要ですが「楽(らく)をする」のは違います。「楽(らく)」をして良い結果が得られることもあります。自分の成長を人任せにすることになり、良い結果が出てもそれほど嬉しくないものです。自分で挑戦するからこそ、成長の喜びも大きいのです。やったことがないことでも、面倒くさそうなことでも、「成長の第一歩」と考え、楽しんでやってみましょう。楽しい事は、続けることができます。

さて、今年一年、子供たちは、どんな挑戦をして、どんな「自分」になっていくのでしょうか。谷浜小学校は、どんな挑戦をして、どんな「学校」になっていくのでしょうか。

保護者・地域の皆様から見守っていただきながら、新しい一年にしたいと思います。子供たちや谷浜小学校の「成長」を楽しみにしてください。本年も、よろしくお願いいたします。

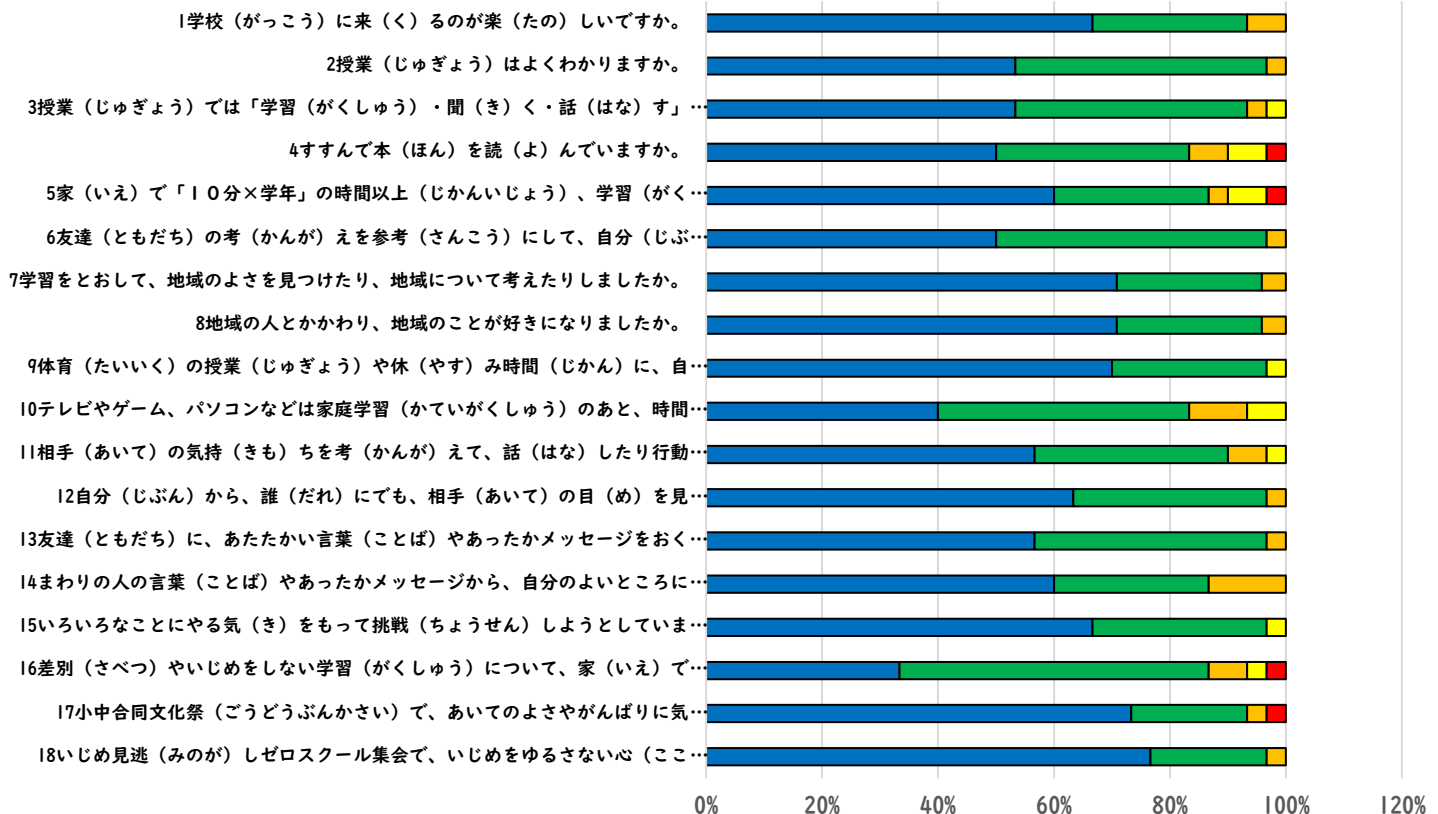




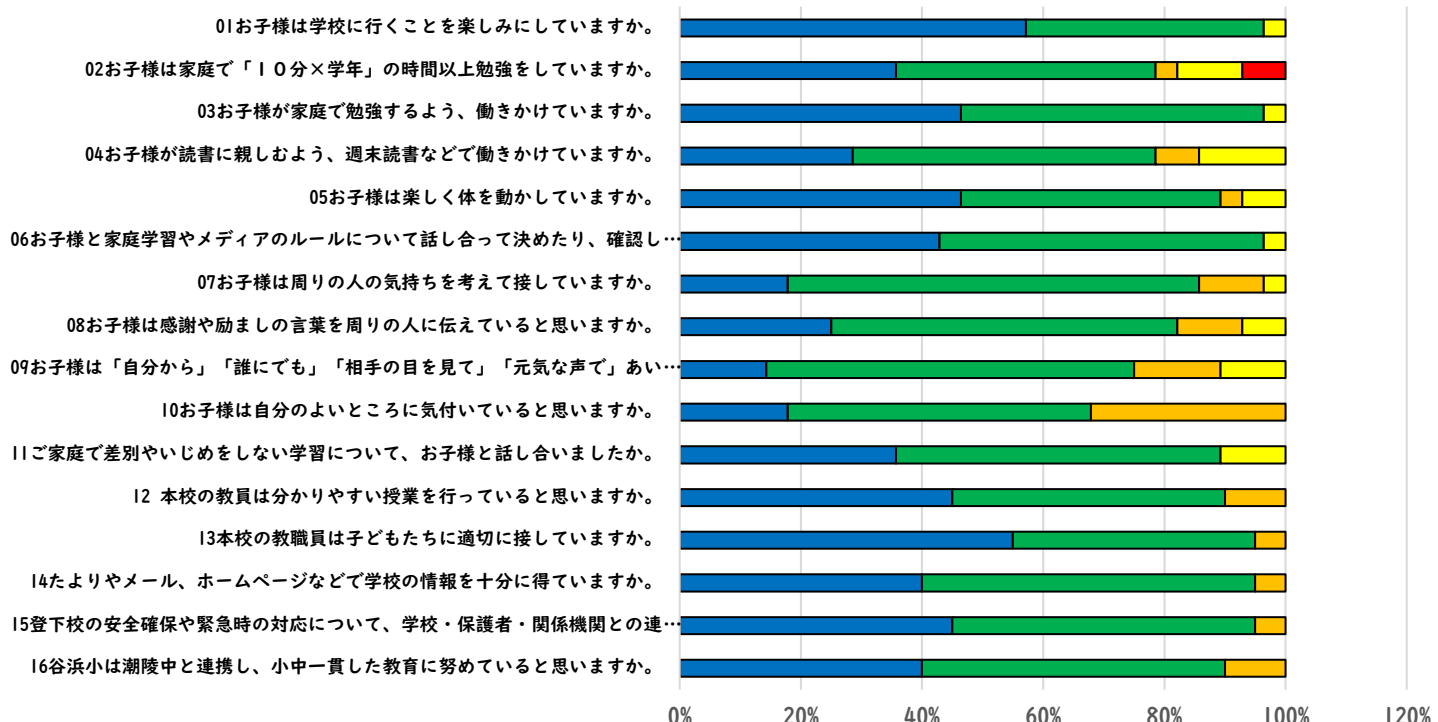
後期学校評価について

昨年12月に実施したアンケートへのご協力ありがとうございました。結果についてお知らせします。

2学期児童アンケート結果



2学期保護者アンケート結果





「学び」について

全校国語「わかあゆ会議」の取組で、話し合うためのスキルを明確にし、これを学級での話し合いでも活用することで、話す・聞く・話し合う力が高まってきました。3学期も継続し、友達の意見を参考に自分の考えを深め、表現することができるように支援していきます。

読書に関する肯定的評価は、児童 83%、保護者 73%で、職員からも取組が十分でなかったという反省がありました。3学期は、朝読書の在り方を見直し、15分間着席して読書に集中できるよう、全校で取り組んでいきます。週末読書のご協力もよろしくお願いいたします。

家庭学習については、望ましい家庭学習習慣が身に付いているお子さんがいる一方で、宿題を提出できないお子さんもあり、個人差が大きいです。3学期は1年間のまとめの時期です。ご家庭での声がけや、お子さん一人一人に応じたご支援をお願いします。

地域学習についての肯定的評価は、依然として高いです。3・4年生のふるさと学習、鮭の卵の飼育活動、5・6年生の里神楽の学習等、地域の皆様のご尽力のおかげで実り多い2学期となり、その成果が表れました。本当にありがとうございました。

「健康」について

2学期は、持久走や鉄棒学習などを契機に、運動に親しむ機会が増えました。また、学校保健委員会では、親子で楽しく運動することができました。3学期も寒さに負けないように、短縄チャレンジ、大縄大会などの取組を計画したり、サーキットトレーニングを行ったりします。

メディア使用に関しても、児童・保護者ともに肯定的評価が80%を超えましたが、個人差があります。3学期の第3回目の健康週間も、小中が同じ時期に取り組みます。家庭内で協力して、メディアの時間を少なくしましょう。ご協力をお願いします。

2学期の保・小・中合同避難訓練や防災教育の授業では、災害を自分事として捉え、真剣に取り組むことができました。児童の振り返りからは、災害時に必要なことをよく理解して行動した様子が伝わりました。

「心」について

2学期は、いじめ見逃しゼロスクール集会に向けた取組や人権教育、同和教育の授業を通して、いじめや差別を許さない心情の育成に努めました。また、合同文化祭でのメッセージ交換等、認め合いの活動を意図的に設定しました。その成果が、アンケートの結果にも表れ、関連する設問の肯定的評価は90%を超えました。3学期は、児童玄関前に「あったかメッセージコーナー」を新設します。児童同士が認め合う活動を意図的に設定するとともに、職員からも児童のがんばりに対するあったかメッセージを送ります。ご来校の際は、ぜひご覧ください。また、学級の問題を、児童が自ら話し合っ解決する場面を大切に、他者とのかわりの中で相手意識を育んでいけるように支援します。

あいさつの肯定的評価は、児童 96%（うち強い肯定 63%）に対して保護者 75%（同 14%）と、大人と子どもの評価が分かれました。3学期も引き続きあいさつ指導に努めます。学校、家庭、地域ともに、まずは大人が手本となるようなあいさつに励みましょう。

自由記述より

課外活動についてのご意見をいただきました。春のPTA総会でもご説明したとおり、残念ながら、児童数減のため、課外音楽活動は令和7年度に終了する予定です。ご理解くださいますようお願いいたします。

「子どもとともに成功を喜んでくださる先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。谷浜の環境を最大限に活用し地域と共存できることに感謝します。」「谷浜地域ならではの行事や地元とのふれあい方、取組み方が小中を通して子供たちにとってとても貴重なものになっていると思います。」「積極的に地域と関わりを持ってくださりありがとうございます。今後もぜひよろしくお願いいたします。」のように、温かいお言葉をいただきました。地域との交流を大切に、子どもたちの中に、ふるさとへの愛情や誇り、感謝の気持ちを育むことは、学校の使命であり願いです。この恵まれた環境を活用してよりよい教育活動を展開できるよう、今後も励みます。

この他にも、個別面談の折に話題とさせていただいたご意見もありました。たくさんのご意見をいただき、本当にありがとうございました。